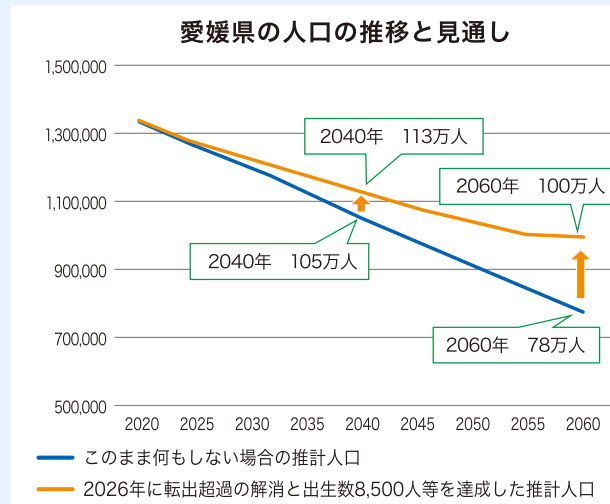


政策横断的な視点(重視する視点)

人口減少を見据えた視点

愛媛県の人口は、このまま新たな対策を講じなければ、2040年には105万人、2060年には78万人になると推計しており、若年層を中心に生産年齢人口の減少傾向が顕著となり、これから労働力不足がより深刻になると想定されているほか、現に、地域防災を担う消防団員の数が減少傾向にあります。えひめ人口減少対策重点戦略(令和4年10月:愛媛県公表)では、長期目標として、**2060年に人口100万人を確保**することを目標としています。

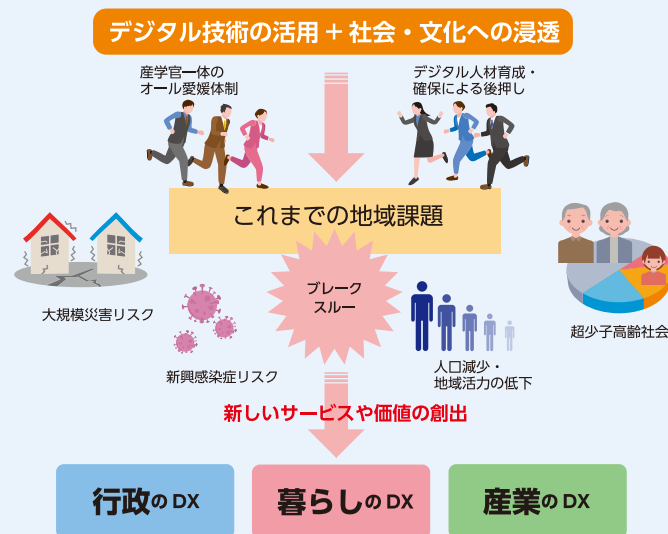


(出典)「人口減少の要因分析と対策に向けた調査研究報告書」(愛媛県、一般財団法人地方自治研究機構)

新型コロナで社会変容をもたらしたデジタル化の視点

新型コロナウイルス感染症も相まって、テレワークやオンラインサービスを前提とした新しい働き方や暮らしが急速に普及してきました。デジタル技術を活用した新たな日常は、多様で柔軟な生き方の実現につながっており、本県では、社会文化レベルへの浸透を図り、愛媛オリジナルなデジタル社会を実現し本県の魅力向上につなげるため、全国に先んじてDXに取り組んでいます。

こうしたことから、県が行う様々な取り組みにデジタル技術も効果的に活用し、**誰一人取り残さないデジタル化に挑戦**することで、「活力と安心感あふれる愛媛のえひめ」を目指します。



愛媛県におけるSDGs推進の視点

県が取り組む各施策の方向性と一致するSDGs(持続可能な開発目標)に取り組み、行政だけでなく県民や企業を含めた**様々な民間主体と連携・協働し、地域の課題解決を図りつつ、地方創生を推進**していきます。



分野別計画

3つの「愛媛づくりの方向性」の下に、各政策・施策を構成しています。

【人】分野 ～次世代を育み、誰もが活躍できる愛媛県～

政策1 人を惹きつける住み続けたい愛媛づくり

愛媛で就職し、結婚・出産の希望を叶え、安心して子育てを行い、仕事と家庭の両立ができる環境を整えていくほか、地元に対する想いを行動で表すシビックプライドの醸成や、本県の魅力発信の促進、交流の拡充により、更なる愛媛ファンを獲得し、関係人口の増加を図ります。



女性活躍の推進や仕事と家庭の両立支援などに積極的に取り組む事業所を県が認証

政策2 誰もが健康で豊かな生活を送ることができる愛媛づくり

年齢や障がいの有無等を問わず、働く意欲の高い方々が働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、地域社会への貢献など、様々な場所で活躍できる環境を整備します。また、健康寿命を延ばす取組みを進めるほか、生涯にわたって身近にスポーツや文化芸術活動などに親しむことができる環境整備を進め、仕事や家庭以外に余暇時間を豊かに過ごしながら、自分の能力を発揮して活躍できる社会を目指します。



ウォークラリー(ねんりんピック種目)



愛媛ひろがるえひめの障がい者アート展



えひめ愛媛のジュニアアスリート発掘事業

政策3 子どもたちのたくましい成長を支える教育立県えひめの実現

「教育立県えひめ」の実現を目指し、知・徳・体のバランスの取れた子どもたちが育つ教育、先端技術を活用しつつ個々の適性に応じたきめ細かな教育活動の推進を図るほか、高校進学を目指す生徒の視点に立った魅力的で足腰の強い県立学校づくりを進めるとともに、グローバル化やデジタル化などの社会の変化に応じた特色ある学校づくりを進めます。

また、いじめや不登校などの未然防止や早期発見・解決等に取り組むとともに、障がいのある児童生徒を含め、全ての子どもたちが安心して学ぶことができる環境の保障に努めます。

さらに、学校教育を担う教員の能力の向上や働き方改革にも取り組んでいきます。



英語発信力育成



県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!ディ